

## 自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

### ◆スリップ事故注意◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口  
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！  
夕方からの積卸作業時は、ヘルメット・ライトを使用すること

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！  
監査時に休憩していなければ減点、累計点数で営業停止！

追突、玉突き事故を防ぐ  
交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」  
◆左折時は、死角を認識し、安全確認  
◆右折時は、対向車だけでなく、横断歩行者にも注意

“ぼんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

自宅を出る前、会社を出る前、後方確認・周囲の確認

赤信号交差点、停止寸前の車両に追突事故注意

# 相次ぐトラック事故

## 警視庁が新対策へ

2014年12月28日 17時40分

東京都内で平成26年、トラックなどが関係する交通死亡事故が目立ち、子どもが犠牲となる事故も相次いだことから、警視庁は、運送事業者のドライバーに対し安全運転のための講習会を開くとともに、通学路を抜け道として利用しないよう働きかけるなどの対策を、来年から実施することを決めました。

警視庁によりますと、ことし都内で起きたトラックなどの貨物車に関係する交通事故で死亡した人は、今月25日までに81人と事故死者全体の半数近くを占めていて、このうち子どもは、世田谷区の通学路で小学生が軽トラックにはねられて3人が死傷するなど、5人が犠牲となっています。

警視庁は対策を検討するため、東京都トラック協会を通じてドライバー579人にアンケート調査をしたところ、事故の発生状況などについての情報提供や、安全運転教育を求める意見が多く寄せられたということです。

このため警視庁は、運送事業者に対する新たな対策を来年から実施することにしたもので、警察官が出向いて安全運転のための講習会を開くとともに、小学校周辺の通学路を抜け道として利用しないよう働きかける方針です。

また警視庁は、事故が多い地域で白バイ隊員による監視を強めたり、荷物を積み過ぎる過積載やスピード違反の取締りを強化したりして、トラック事故の防止につなげたい考えです。